

研究・調査報告書

報告書番号	担当
177	滋賀医科大学社会医学講座福祉保健医学部門
題名 (原題/訳)	
Risk factors for alcohol use among male adolescents and emerging adults in Haiti. ハイチにおける思春期男子と20歳代前半青年の飲酒開始危険因子	
執筆者	
Gage AJ, Zuzuki C	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
Journal of Atherosclerosis 2006; 29: 241-260.	
キーワード	
思春期、アルコール、ハイチ	
要旨	
<p>本研究は、2000年にハイチにおいて実施された。過去3ヶ月における飲酒経験を、なし、常習的飲用、経験的飲用（過去3ヶ月に3回以下）に分けて、その関連要因を断面調査成績から分析したものである。思春期男子は15-19歳、20歳代前半青年は20-24歳男子である。それぞれ、812人、517人を調査した。調査対象者は、家族単位のインタビューから対象者を選び、同意を得たものである。</p> <p>過去3ヶ月間における飲酒経験は、生涯喫煙量、多人数のセックスパートナー、子供時代における両親のいさかい、両親の監視不行き届き、近隣における若者の高飲酒率等が飲酒経験と関連していた。若者の飲酒経験と常習的アルコール飲用は、これらの危険因子が多いほど高かった。これらの知見は、予防的観点から、家族や地域の力の重要性を示している。また、セックスと関連した要因だけでなく、関連していないものを含め、若者の日常生活態度に焦点を当てた対策が必要であることを示している。</p>	